

令和6年度 鎌ヶ谷市市民意識調査 調査結果報告書 <概要版>

「鎌ヶ谷市市民意識調査」は、市民の皆さまから市政の幅広い分野にわたってご意見、ご要望をお伺いし、その声を今後のまちづくりに反映することを目的に、これまでは5年ごとに実施し、今回の調査からは、鎌ヶ谷市総合基本計画の計画期間の変更に合わせて、6年ごとに実施します。

令和6年9月に実施しました市民意識調査の調査結果の概要をお知らせします。

全体版については、図書館、市役所3階情報公開コーナーで閲覧できます。

また、市ホームページにおいても閲覧できます。

【調査概要】

- | | |
|----------|----------------------|
| (1) 調査地域 | 鎌ヶ谷市全域 |
| (2) 調査対象 | 市内在住の満18歳以上の市民 |
| (3) 標本数 | 3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収 |
| (6) 調査期間 | 令和6年9月6日～9月27日 |
| (7) 回収結果 | 有効回答数 1,728件 (57.6%) |

【調査項目】

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| (1) 鎌ヶ谷市のイメージについて | (7) 市政について |
| (2) 住み心地について | (8) 行政サービスについて |
| (3) 地域活動について | (9) 鎌ヶ谷市の施策全般について |
| (4) 防災対策について | (10) 回答者の属性 |
| (5) 健康・子育て・教育・福祉・生涯学習について | (11) 自由意見 |
| (6) 各種施策について | |

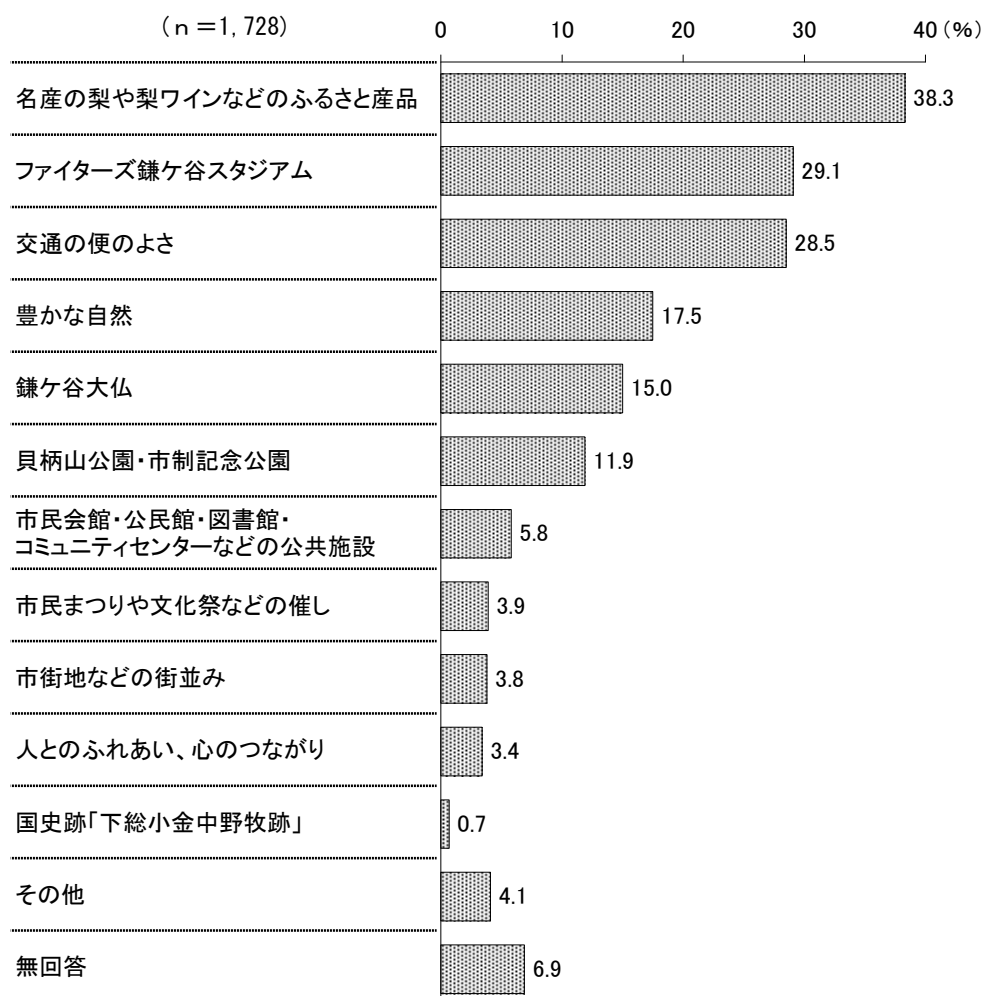
【概要版の見方】

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答率を合計しても100%ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがあります。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出しています。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- (3) この概要版は調査結果の一部をまとめたものです。

1. 鎌ケ谷市のイメージについて

◇ 鎌ケ谷らしさを感じるもの

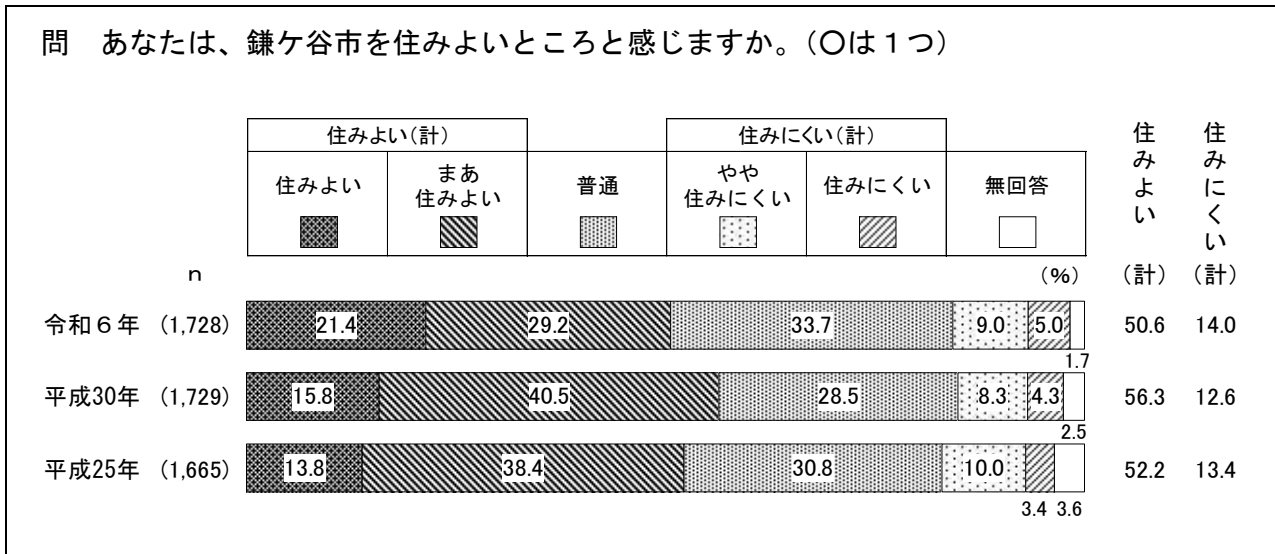
問 あなたにとって「鎌ケ谷らしさ」を感じさせ、愛着や誇りを持つことができるものは何ですか。(〇は2つ以内)



「鎌ケ谷らしさ」を感じさせ、愛着や誇りを持つことができるものを聞いたところ、「名産の梨や梨ワインなどのふるさと産品」(38.3%) が4割近くで最も高く、次いで「ファイターズ鎌ケ谷スタジアム」(29.1%)、「交通の便のよさ」(28.5%)、「豊かな自然」(17.5%)、「鎌ケ谷大仏」(15.0%)の順となっています。

2. 住み心地について

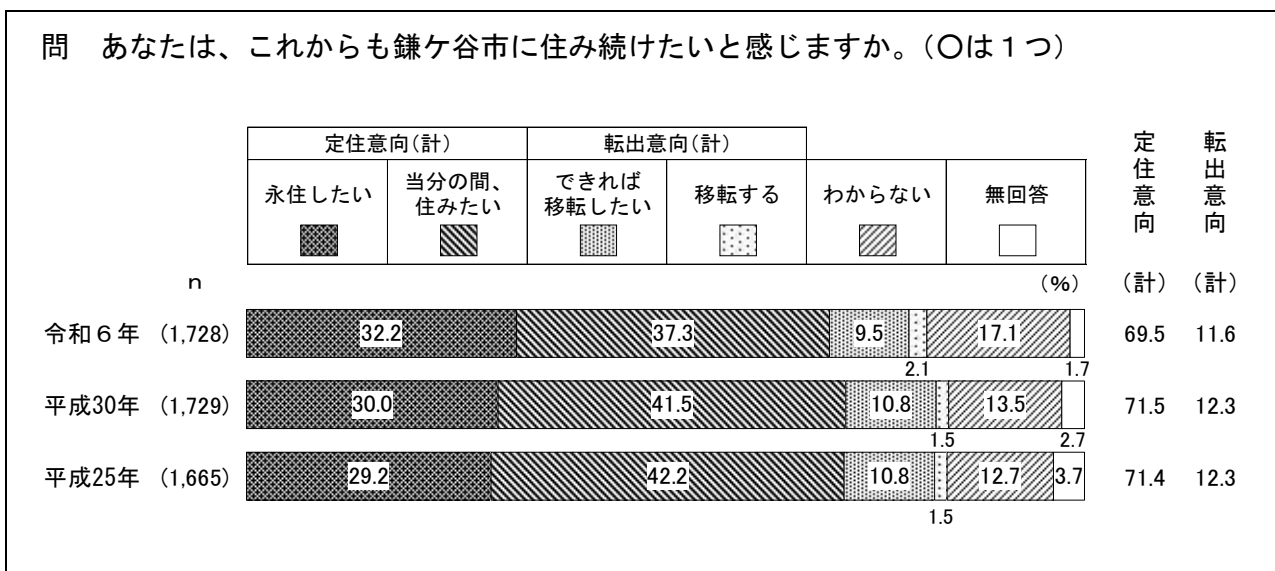
◇ 住みよさ



鎌ヶ谷市を住みよいところと感じるか聞いたところ、「住みよい (21.4%)」が約2割を超え、平成30年より5.6ポイント、平成25年より7.6ポイント増加しています。また、「まあ住みよい (29.2%)」と合わせた『住みよい (計)』(50.6%)は約5割を超えています。

一方、「住みにくい (5.0%)」と「やや住みにくい (9.0%)」を合わせた『住みにくい (計)』(14.0%)は約1割となっています。

◇ 定住意向



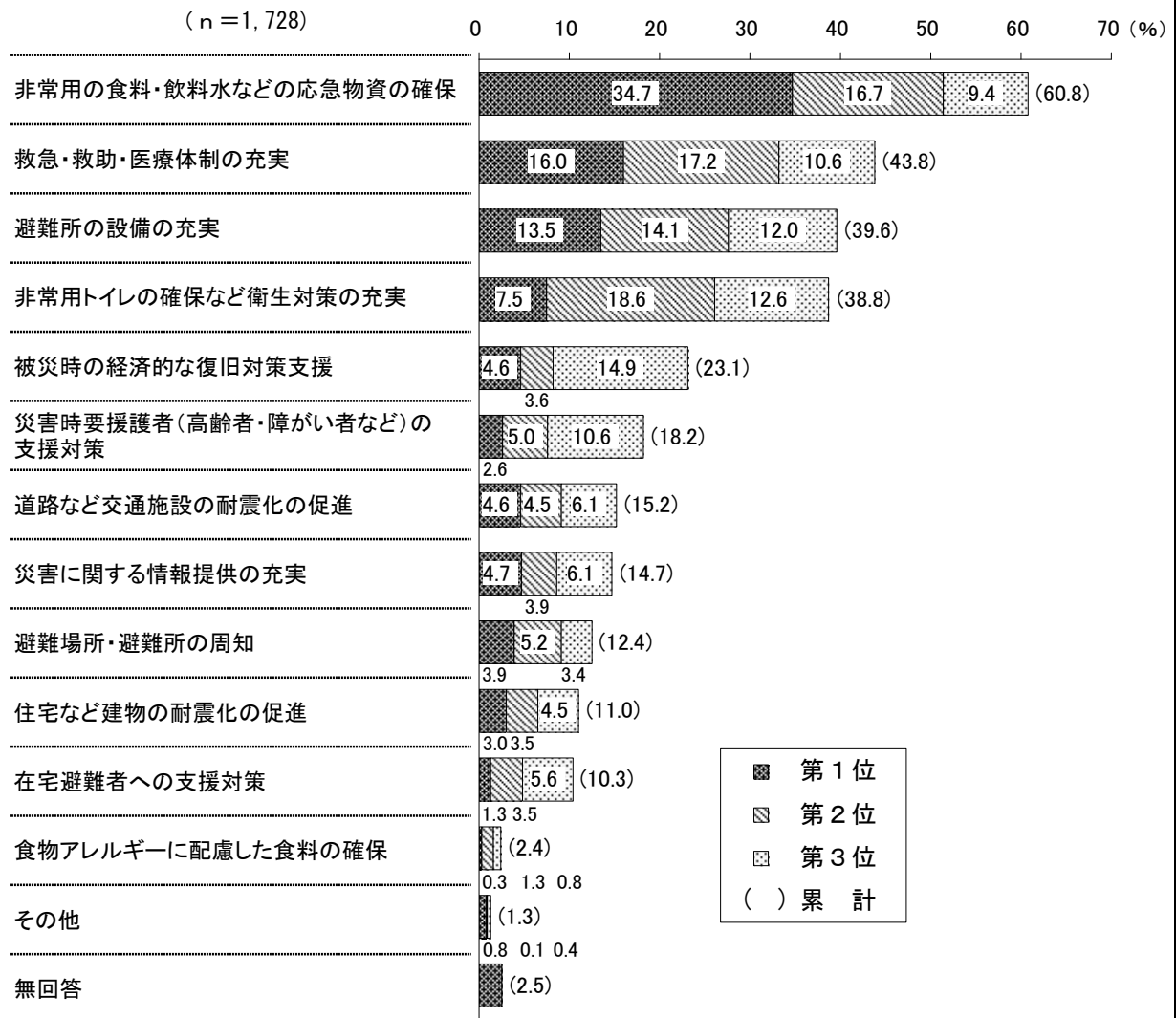
鎌ヶ谷市に住み続けたいか聞いたところ、「永住したい (32.2%)」が約3割を超え、平成30年より2.2ポイント、平成25年より3.0ポイント増加しています。また、「当分の間、住みたい (37.3%)」を合わせた『定住意向 (計)』(69.5%)は約7割となっています。

一方、「移転する (2.1%)」と「できれば移転したい (9.5%)」を合わせた『転出意向 (計)』(11.6%)は約1割となっております。

3. 防災対策について

◇ 防災対策として重視すべき施策

問 あなたは、市が行う防災対策として、どのような施策を重視すべきとお考えですか。
(第1位から第3位までの順位をつけて、番号を記入)



※累計の値は、四捨五入の関係で第1位から第3位までの単純な合計とは値が異なる場合があります

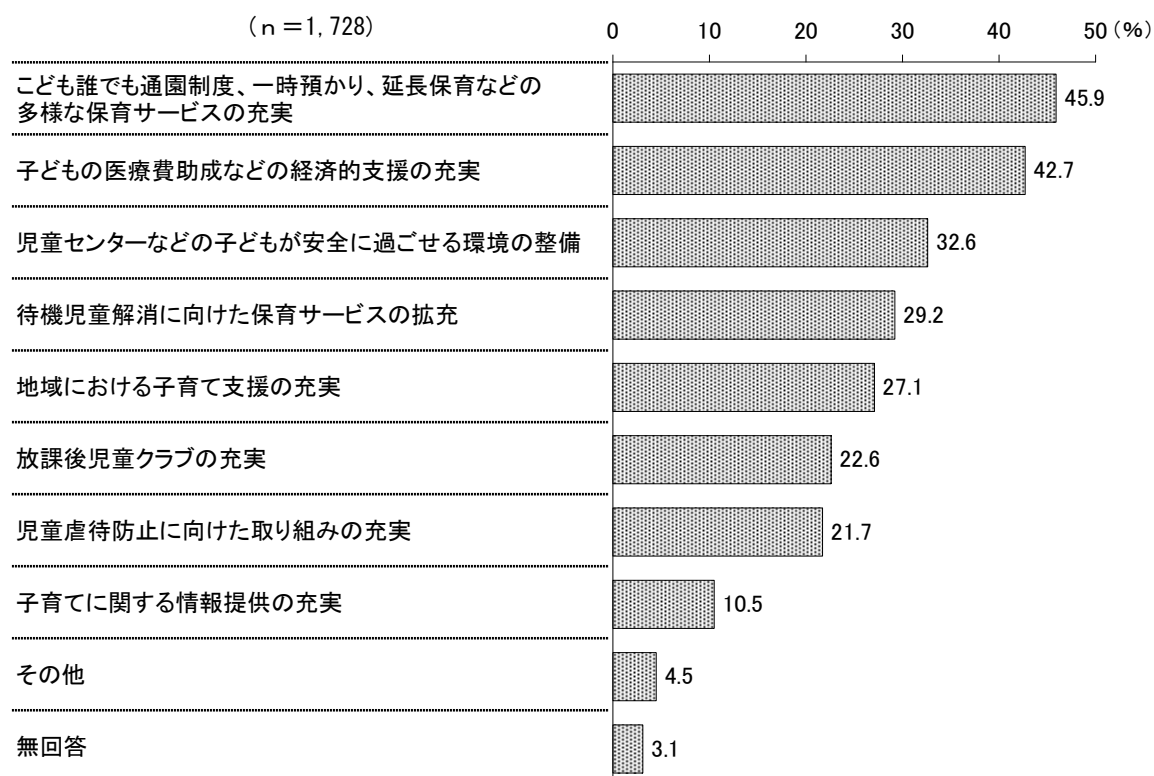
防災対策として重視すべき施策を聞いたところ、第1位では、「非常用の食料・飲料水などの応急物資の確保」(34.7%)が3割半ばで最も高く、次いで「救急・救助・医療体制の充実」(16.0%)、「避難所の設備の充実」(13.5%)、「非常用トイレの確保など衛生対策の充実」(7.5%)の順となっています。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「非常用の食料・飲料水などの応急物資の確保」(60.8%)が約6割で最も高く、次いで「救急・救助・医療体制の充実」(43.8%)、「避難所の設備の充実」(39.6%)、「非常用トイレの確保など衛生対策の充実」(38.8%)、「被災時の経済的な復旧対策支援」(23.1%)の順となっています。

4. 健康・子育て・教育・福祉・生涯学習について

◇ 子育て環境の整備に必要な施策

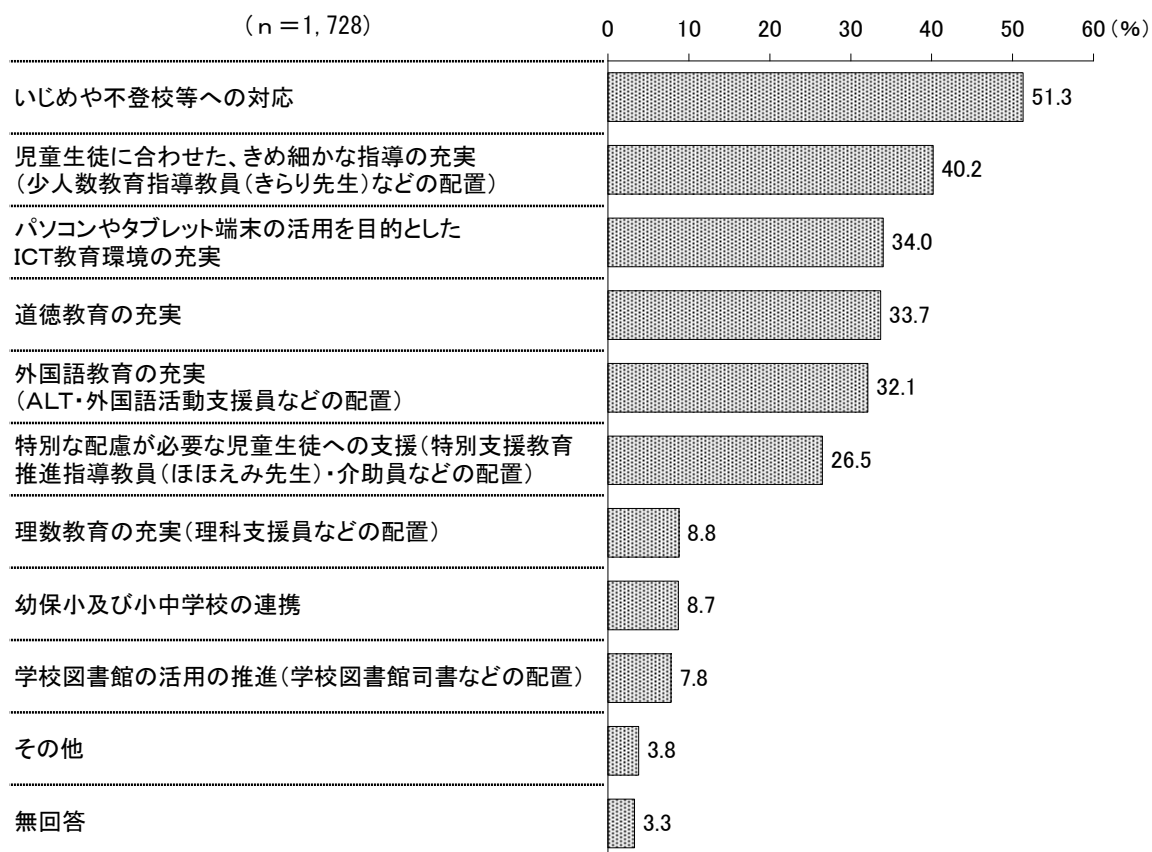
問 あなたは、子どもが健やかに育てられる環境を整備するために、どのような施策が必要だと思いますか。（〇は主なもの3つ以内）



子育て環境の整備に必要な施策を聞いたところ、「こども誰でも通園制度、一時預かり、延長保育などの多様な保育サービスの充実」（45.9%）が4割半ばで最も高く、次いで「子どもの医療費助成などの経済的支援の充実」（42.7%）、「児童センターなどの子どもが安全に過ごせる環境の整備」（32.6%）、「待機児童解消に向けた保育サービスの拡充」（29.2%）の順となっています。

◇ 教育環境の充実に必要な施策

問 あなたは、鎌ヶ谷市の小・中学校における教育環境の充実のため、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は主なもの3つ以内)

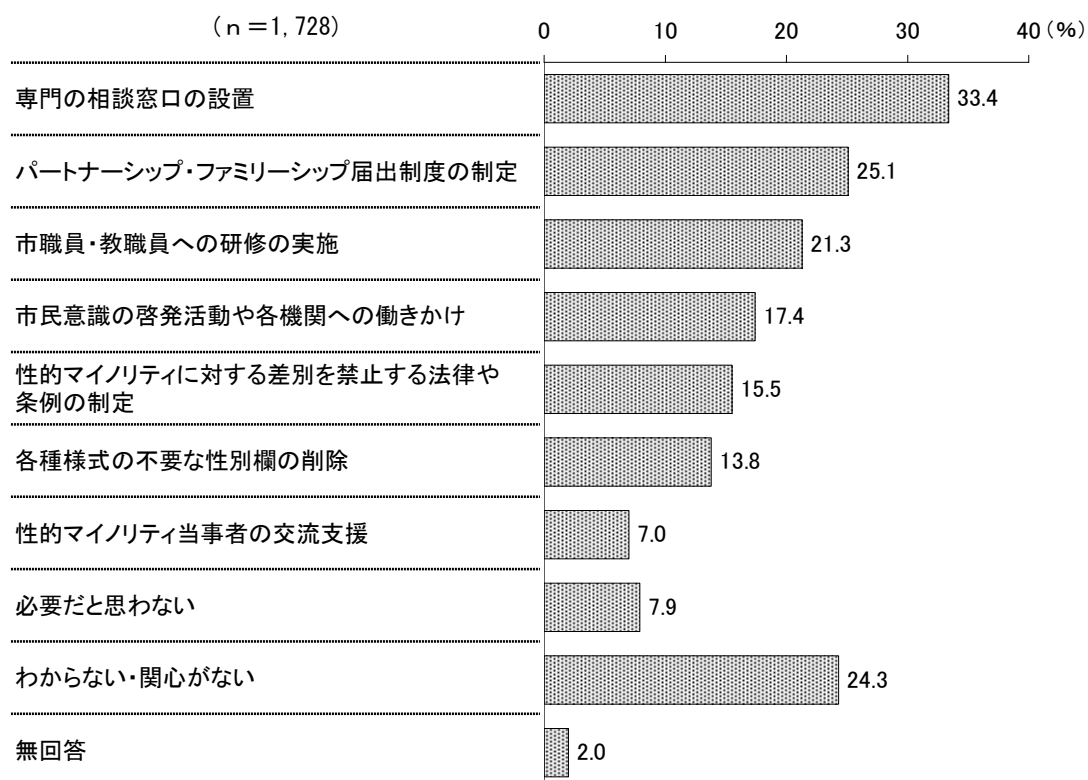


教育環境の充実に必要な施策を聞いたところ、「いじめや不登校等への対応」(51.3%)が5割を超えて最も高く、次いで「児童生徒に合わせた、きめ細かな指導の充実(少人数教育指導教員(きり先生)などの配置)」(40.2%)、「パソコンやタブレット端末の活用を目的としたICT教育環境の充実」(34.0%)、「道徳教育の充実」(33.7%)、「外国語教育の充実(ALT・外国語活動支援員などの配置)」(32.1%)の順となっています。

5. 各種施策について

◇ 性的マイノリティの方への支援について期待すること

問 あなたが、LGBTQ+等の性的マイノリティの方への支援について市へ特に期待することを選択してください。(〇は3つ以内)

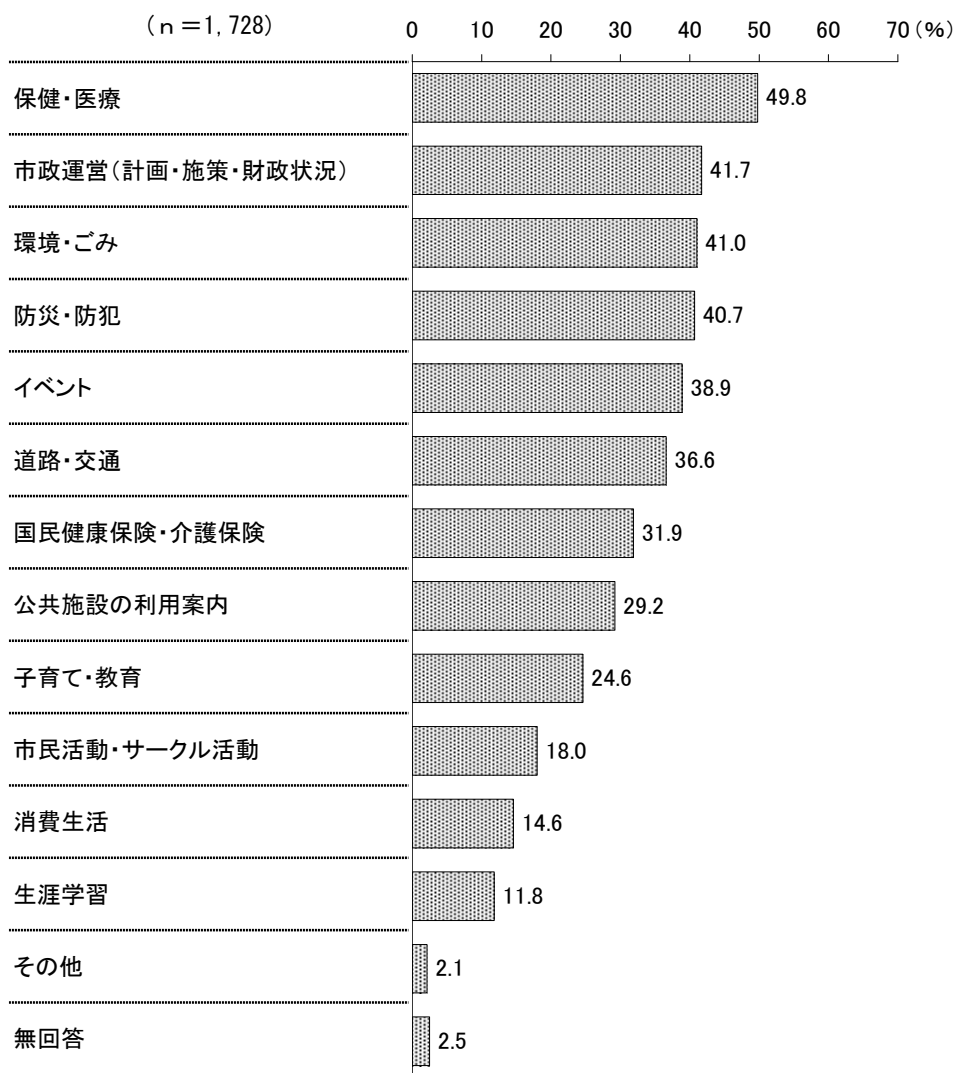


性的マイノリティの方への支援について期待することを聞いたところ、「専門の相談窓口の設置」(33.4%)が3割を超えて最も高く、次いで「パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の制定」(25.1%)、「市職員・教職員への研修の実施」(21.3%)、「市民意識の啓発活動や各機関への働きかけ」(17.4%)の順となっています。また、「わからない・関心がない」(24.3%)は2割半ばとなっています。

6. 市政について

◇ 市の広報紙やホームページなどから欲しい情報

問 あなたは、市の広報紙やホームページなどから、どのような情報が欲しいと思いますか。（欲しいと思う情報全てに○）



市の広報紙やホームページなどから欲しい情報を聞いたところ、「保健・医療」(49.8%) が約5割で最も高く、次いで「市政運営(計画・施策・財政状況)」(41.7%)、「環境・ごみ」(41.0%)、「防災・防犯」(40.7%)、「イベント」(38.9%) の順となっています。

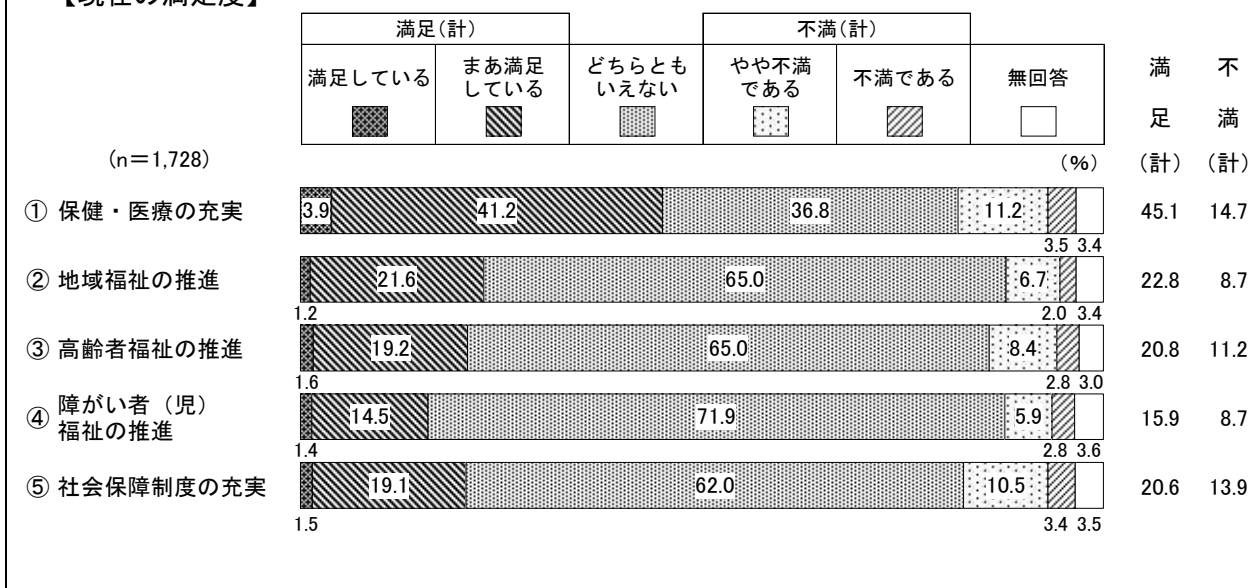
7. 鎌ケ谷市の施策全般について

◇ 鎌ケ谷市の施策・サービスの評価

問 あなたは、鎌ケ谷市の施策・サービスについて、「現在の満足度」と「今後の重要度」をどのようにお考えですか。（項目ごとに〇は1つずつ）

① 保健・福祉

【現在の満足度】

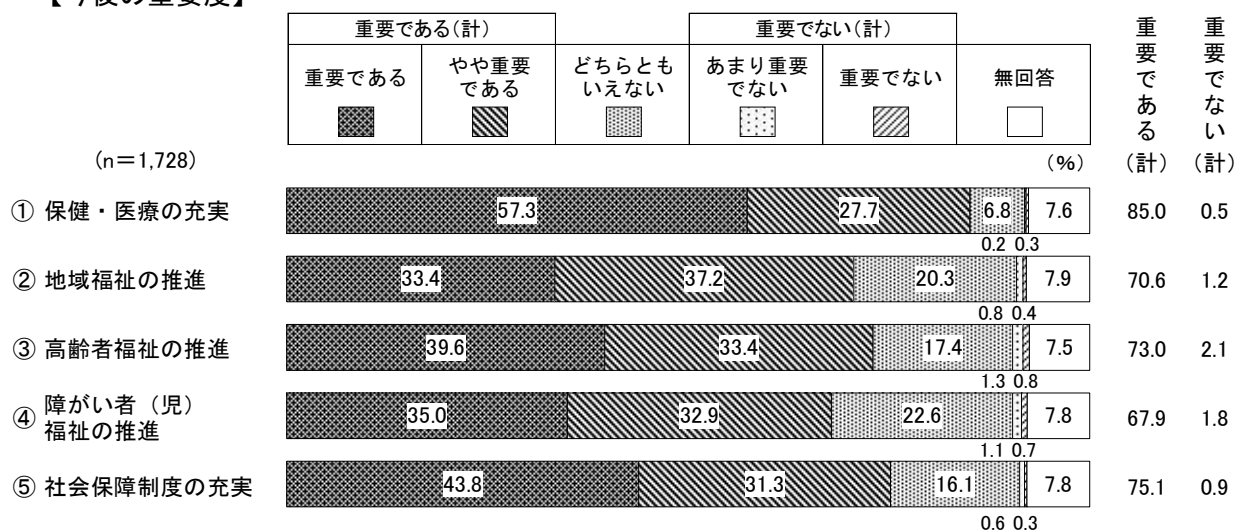


保健・福祉の現在の満足度をみると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足(計)』は“保健・医療の充実”(45.1%)で4割半ばと最も高く、次いで“地域福祉の推進”(22.8%)、“高齢者福祉の推進”(20.8%)の順となっています。

一方、「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満(計)』は“保健・医療の充実”(14.7%)で約1割となっています。

① 保健・福祉

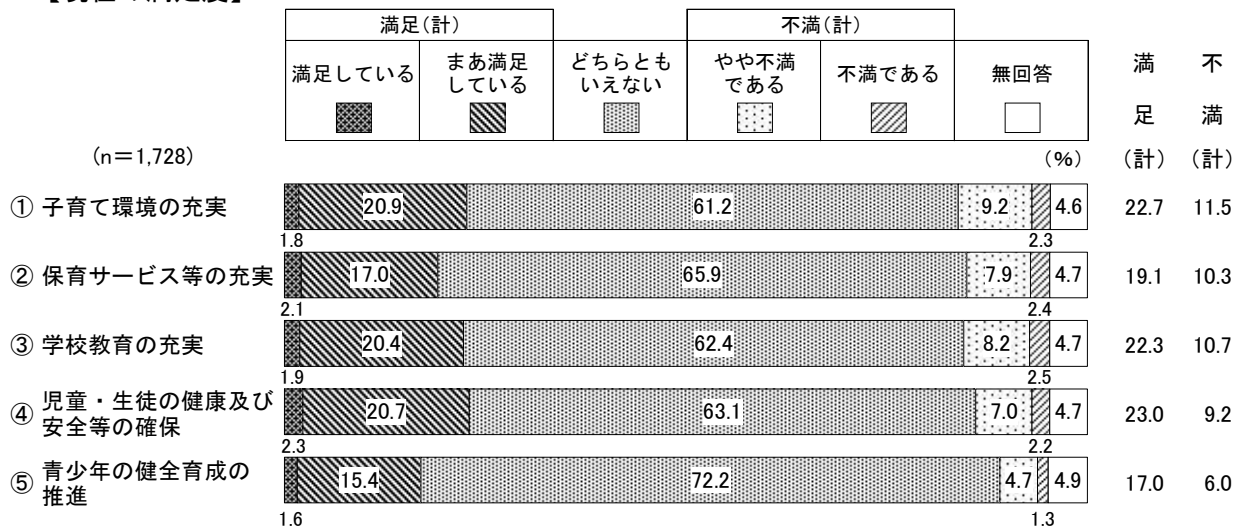
【今後の重要度】



保健・福祉の今後の重要度をみると、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である（計）』は“保健・医療の充実”（85.0%）で8割半ばと最も高く、次いで“社会保障制度の充実”（75.1%）、“高齢者福祉の推進”（73.0%）の順となっています。

② 子育て・教育

【現在の満足度】

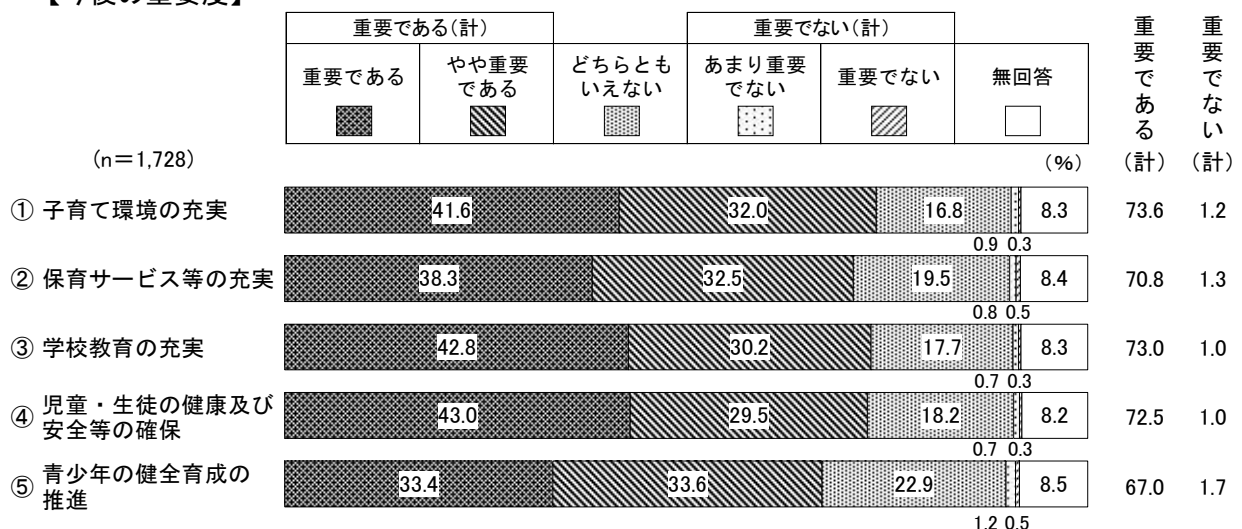


子育て・教育の現在の満足度をみると、『満足(計)』は“児童・生徒の健康及び安全等の確保”(23.0%)、“子育て環境の充実”(22.7%)、“学校教育の充実”(22.3%)でいずれも2割を超えて高くなっています。

一方、『不満(計)』は“子育て環境の充実”(11.5%)で約1割となっています。

② 子育て・教育

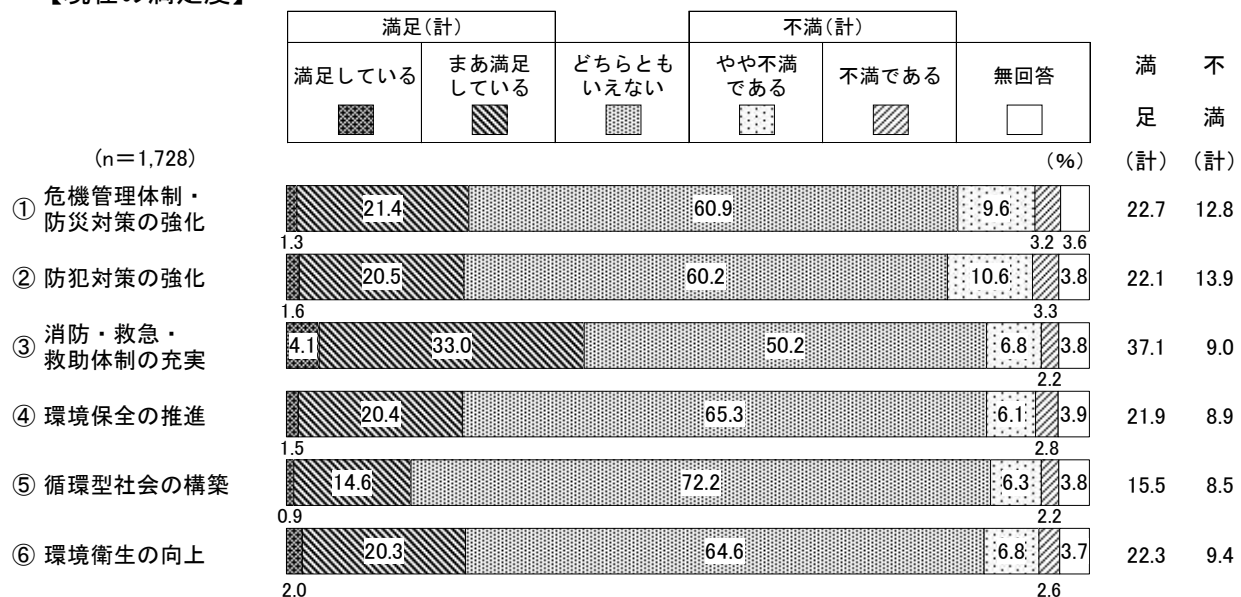
【今後の重要度】



子育て・教育の今後の重要度をみると、『重要である(計)』は“子育て環境の充実”(73.6%)、“学校教育の充実”(73.0%)、“児童・生徒の健康及び安全等の確保”(72.5%)でいずれも7割を超えて高くなっています。

③ 安全・環境

【現在の満足度】

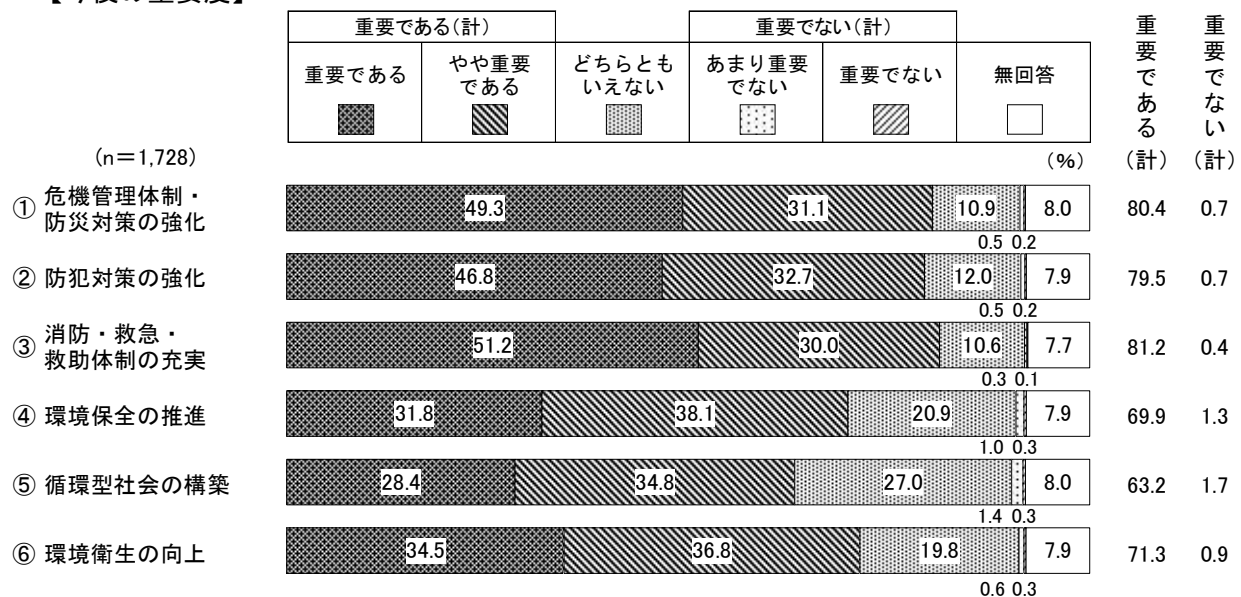


安全・環境の現在の満足度をみると、『満足(計)』は“消防・救急・救助体制の充実”(37.1%)で4割近くと最も高く、次いで“危機管理体制・防災対策の強化”(22.7%)、“環境衛生の向上”(22.3%)の順となっています。

一方、『不満(計)』は“防犯対策の強化”(13.9%)と“危機管理体制・防災対策の強化”(12.8%)で約1割となっています。

③ 安全・環境

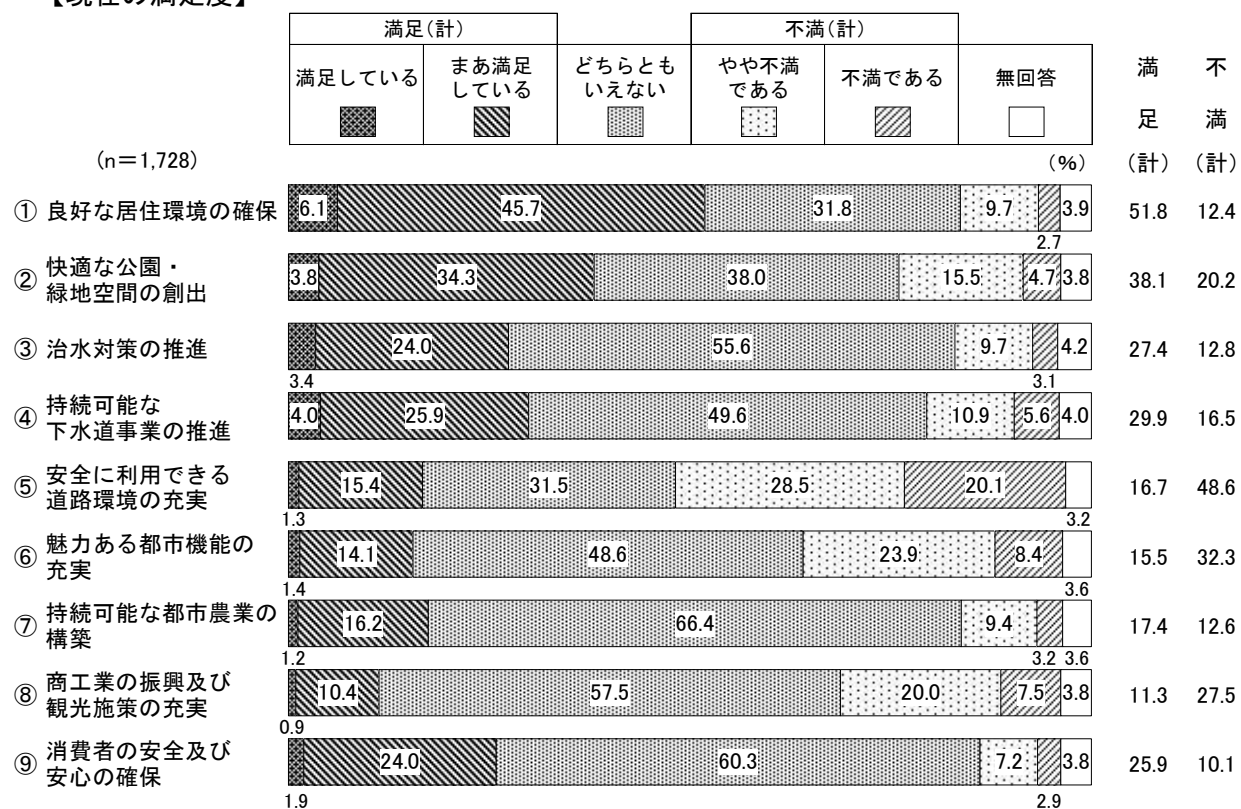
【今後の重要度】



安全・環境の今後の重要度をみると、『重要である(計)』は“消防・救急・救助体制の充実”(81.2%)で8割を超えて最も高く、次いで“危機管理体制・防災対策の強化”(80.4%)、“防犯対策の強化”(79.5%)の順となっています。

④ 都市基盤・産業

【現在の満足度】

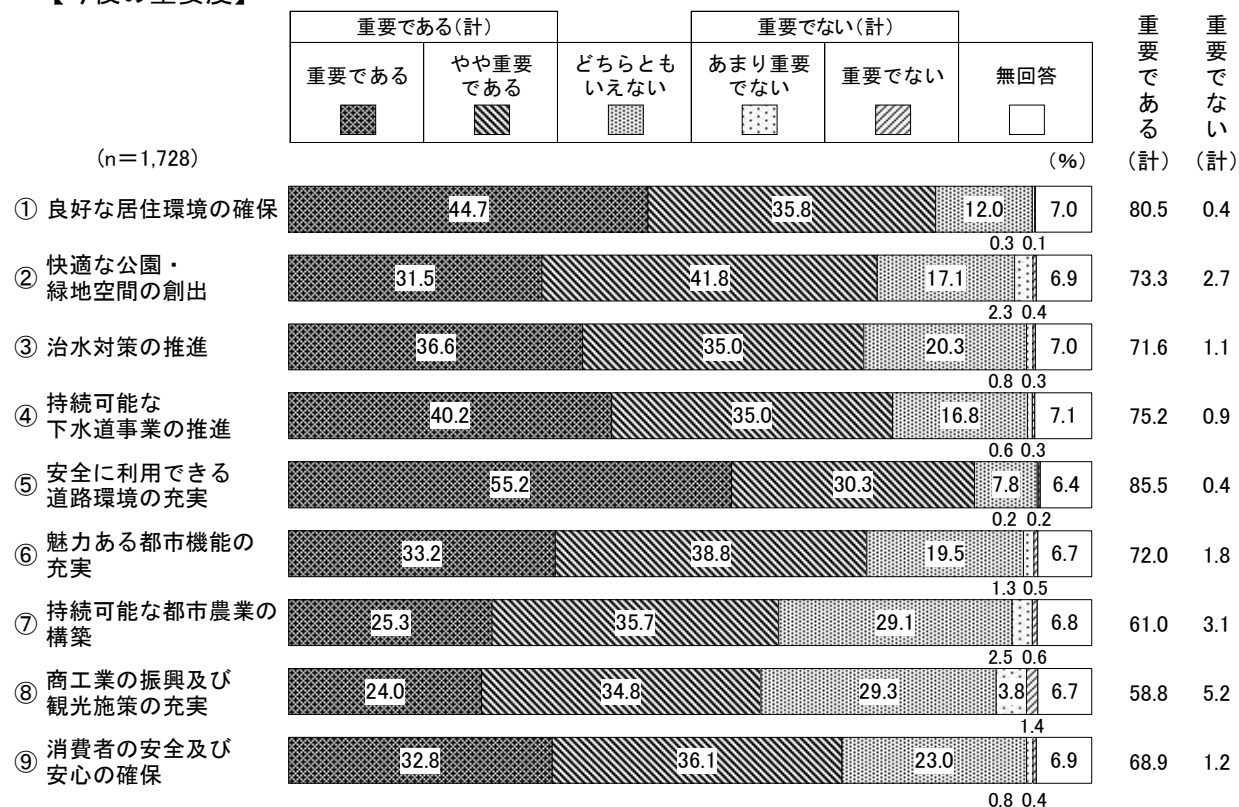


都市基盤・産業の現在の満足度をみると、『満足(計)』は“良好な居住環境の確保”(51.8%)で5割を超えて最も高く、次いで“快適な公園・緑地空間の創出”(38.1%)、“持続可能な下水道事業の推進”(29.9%)の順となっています。

一方、『不満(計)』は“安全に利用できる道路環境の充実”(48.6%)で5割近くと最も高く、次いで“魅力ある都市機能の充実”(32.3%)、“商工業の振興及び観光施策の充実”(27.5%)の順となっています。

④ 都市基盤・産業

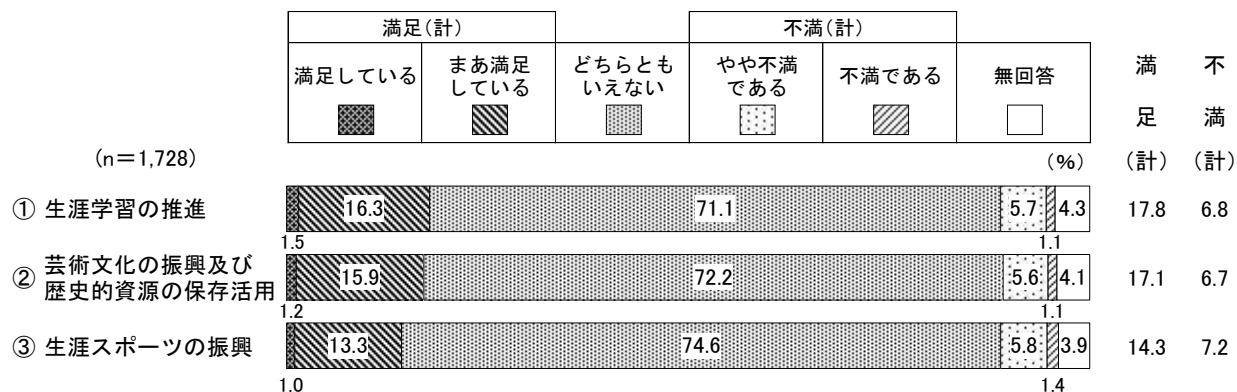
【今後の重要度】



都市基盤・産業の今後の重要度をみると、『重要である（計）』は“安全に利用できる道路環境の充実”（85.5%）で8割半ばと最も高く、次いで“良好な居住環境の確保”（80.5%）、“持続可能な下水道事業の推進”（75.2%）の順となっています。

⑤ 生涯学習・文化・スポーツ

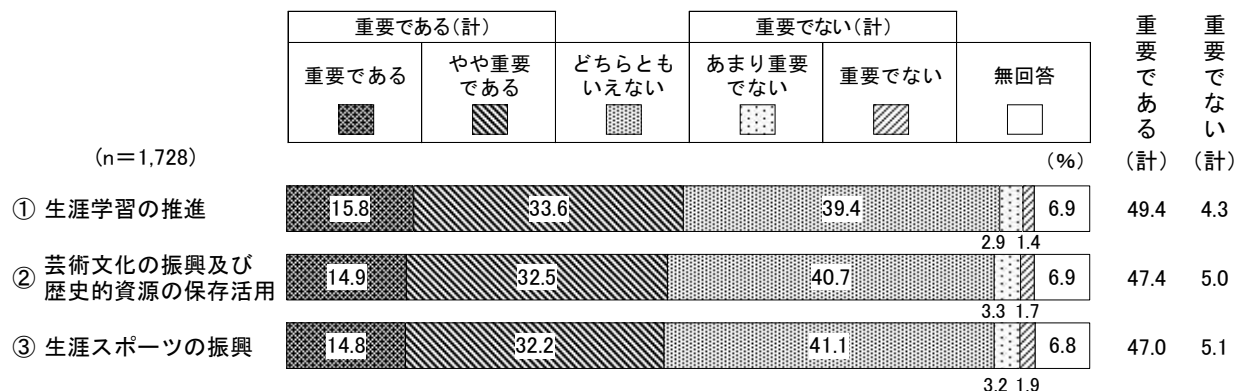
【現在の満足度】



生涯学習・文化・スポーツの現在の満足度をみると、『満足(計)』は“生涯学習の推進”(17.8%)と“芸術文化の振興及び歴史的資源の保存活用”(17.1%)でともに2割近くとなっています。

⑤ 生涯学習・文化・スポーツ

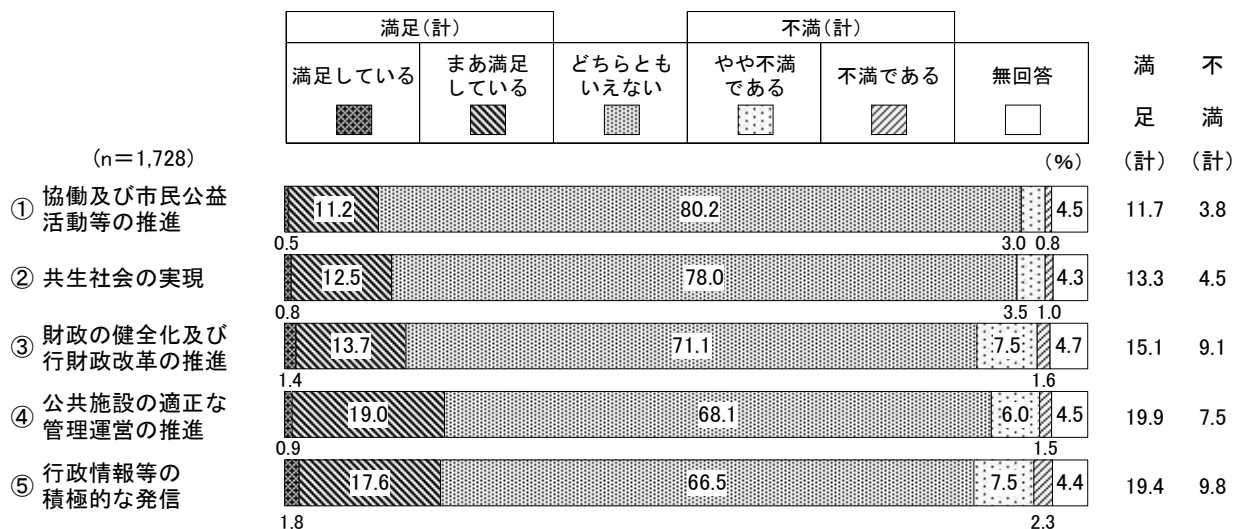
【今後の重要度】



生涯学習・文化・スポーツの今後の重要度をみると、『重要である(計)』は“生涯学習の推進”(49.4%)で約5割と最も高く、次いで“芸術文化の振興及び歴史的資源の保存活用”(47.4%)、“生涯スポーツの振興”(47.0%)の順となっています。

⑥ 市民協働・男女共同参画・多文化共生・持続可能な行財政運営

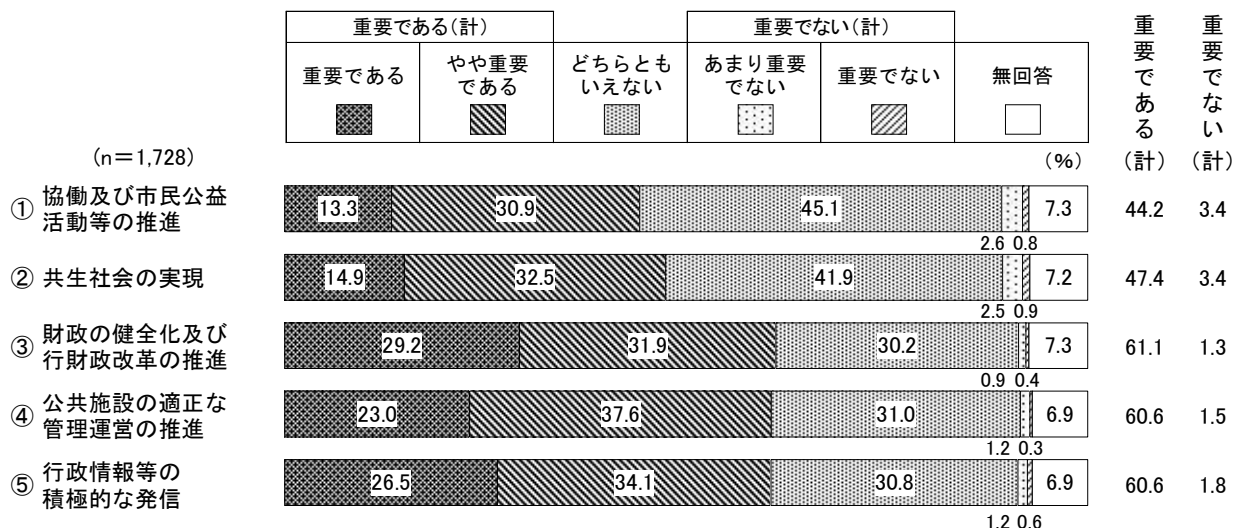
【現在の満足度】



市民協働・男女共同参画・多文化共生・持続可能な行財政運営の現在の満足度をみると、『満足(計)』は“公共施設の適正な管理運営の推進”(19.9%)と“行政情報等の積極的な発信”(19.4%)とともに約2割となっています。

⑥ 市民協働・男女共同参画・多文化共生・持続可能な行財政運営

【今後の重要度】



市民協働・男女共同参画・多文化共生・持続可能な行財政運営の今後の重要度をみると、『重要である(計)』は“財政の健全化及び行財政改革の推進”(61.1%)で6割を超えて最も高く、次いで“公共施設の適正な管理運営の推進”と“行政情報等の積極的な発信”(ともに60.6%)の順となっています。